

1971年
7月号
第196号
毎月1回15日発行
昭和46年7月15日発行
昭和44年6月9日
第3種郵便物認可
(定価1部5円)



発行所
石岡市役所
石岡市大字石岡408番地
電話(代表)8)1111番
郵便番号315
発行人 高木不二男
編集 総務部

わしらも大学生

敬老長寿
大学開校
六十歳以上の人を対象に



若い人たちに負けないで勉強しようがんばる長寿大学の皆さん

第2回かしこい消費者展の開催

自然食コーナーもあります

消費時代といわれるように最近のわたくしたちの生活は大へん豊かになりました。品物は豊富に出回り、お金さえだせばどんなものでもすぐに買うことができます。しかし、その反面、わたくしたちの身体に悪い影響を及ぼす有害な食料品や規格はずれの衣料品などもたくさん出ています。

そこで、市では県や商工会議所、婦人団体連絡協議会、県南ブロック栄養士会などの協賛によって、市民の皆さんに正しい商品知識をもった、かしこい消費者になっていただくために、きたる八月六日から八日までの三日間、コキョウショッピングプラザ(三階展示会場)で、第二回かしこい消費者展を開きます。

時間は毎日午前十時から午後六時までで展示内容は次のようになっています。

- 一、パネル、商品見本などの展示
- 二、食品実験コーナー
- 三、買物テスト
- 四、東電LPガス相談コーナー
- 五、自然食コーナー
- 六、冷凍食品コーナー
- 七、その他

市教育委員会では、社会教育の一環として、おとしよりにも明るくはりのある生活をしてもらおうと、六十歳以上の人を対象に敬老長寿大学の開校を計画、入学希望者を募集したところ三十七人に達しましたので、さる六月十二日に市民会館第三会議室で開校式

をかね第一回目の講座を開きました。

この日、小雨ふる中を集まつた人たちは、鈴木教育長の(現代教育のあり方について)ユーモアをまじえての話しに熱心に耳を傾けていました。

この敬老長寿大学は、毎月一回程度開き六カ月で終了する予定で、第二回目以後の内容は次のようになっていきます。

第二回目
石岡の伝説—茨大 豊崎教授
第三回目
常陸国分時代と今日の石岡 — 茨大 豊崎教授

第四回目
先進地視察—県内

第五回目
核家族と老人社会福祉—講師未定

第六回目
石岡市のこれから—市長

なお、この敬老長寿大学には、中途からでも入学できますので、入学希望者は市教育委員会社会教育課あて申込んでください。

市民総ぐるみの「青少年育成運動」を

社会環境の整備など四つの推進目標

将来のある若い人々を健全に育てていくためにはどうすればよいか。さる六月十九日、市民会館で開かれた青少年問題協議会の席上、真剣に話し合いが行なわれました。

市では、かねてから青少年の非行防止のため、青少年センターを発見させて、警察や学校関係、民間の人たちの協力をいただき、市内の盛り場などのパトロールを続け、かなりの成果をあげています。しかしながら、最近の社会状況の急激な変化に伴い、青少年の問題もいろいろとむずかしい問題ができています。このため、青少年センターだけでは十分な活動ができなくなりつつあり、今後は市民総ぐるみの運動を強力に進めたいこうと、市民の皆さんに

呼びかけてご協力をいただくことになりました。なお、この運動を進めていくための目標が次のようになりました。

- 一、明るい家庭づくり
家庭内での親の態度、その考え方が無意識のうちに影響を与えています。そこで、親は子どもの養育の責任者であることを深く自覚し、家庭を大切にする習慣を強めさせていく。
- 一、清潔で朝気のある社会環境の整備

最近の地域社会では、おとなの連帯意識の稀薄が青少年の社会連帯や公德心を低下させる結果となっていたり、低俗な広告、出版物、映画などはらんが心の成長を著しく害しています。

そこで、青少年にとって好ましくないものは改め、朝気のある社会環境をつくっていく。一、たくましいからだづくり
たくましい青少年を育てるには、すぐれた知性と強じんな体力をつちかうことが必要

福祉協議会 四十六年度

事業計画 きまると

全戸加入方式による会員募集

市社会福祉協議会では、さる六月三十日、老人いこいの家と事業計画をきめました。これによると、四十六年度の決算認定と事業報告を行な

予算は三百九十六万円と、前年度に比較すると百二十二万一千五百円の増となつてい

ます。なお、事業計画は次のよう

一協議会の機構を拡充整備
二全戸加入方式による会員募集
三広報活動の充実強化
四老人いこいの家利用普及

です。

そこで、強健な身体と旺盛な気力を養うため、集団活動や日常生活の中で積極的にスポーツをする意欲を高めさせていく。

一、子ども会活動の振興

青少年育成活動の中で最も効果のあるものは子ども会です。

そこで、子ども会は子どもの社会教育の場である以上、家庭、学校、地域社会が共通の基盤に立って、これらの活動の振興をはかり、明るい町づくりを進めていく。

所得税一期分の納税は

七月三十一日まで

所得税第一期分の納期限は七月三十一日です。

納期限に遅れますと余分な延滞税がかかりますので、次のような方法で納期限までに納めてください。

- 一 振替納税をしている人
税務署からあなたの指定した銀行などに税額を記入した納付書を送り、その銀行などがあなたにかわって納税の手続きをしてくれますから、あらかじめ第一期分に見合う金
- 二 振替納税をしていない人
第一期分の税額を記入した納付書をあなたに送ってありますので近くの銀行か郵便局に納付してください。
- 三 振替納税を利用したい人
この制度のお申込みは、税務署またはあなたの預金先の金融機関（農協、漁協を含む）に備付けの用紙がありますので、このさいぜひご利用ください。

国体に備え選手強化と

体力づくり — 体育協会

石小体育館も近く一般開放

市体育協会では、さる六月七日に市民会館で理事会を開き、四十九年に開かれる茨城国体に備えての選手強化と市民の体力づくりに積極的に取り組んでいくことをきめました。

また、体協では、新しくできた石岡小学校の体育館を一般に開放し、だれもが気軽に参加して、楽しみながらでき

るような「住民スポーツ」を取り上げて、市民の皆さんに親しまれるような体協にしていこうと計画中です。

と取り組んでいます。

○体育協会役員

- 本橋勝之助、村山東一、青柳新兵衛、梶万寿司、村山裕、田上嘉一郎、山本秀次郎、河原西之助、芹沢雄二、渡辺俊明、山木勲、岡野淳、鈴木昭

○体育指導委員会指導員

- 鈴木清、岡野仁、藤木美夫、小泉彰、鈴木良一、宇佐美英、吉田光、小野千鶴子、井川雅美、小泉正夫、小貫敬雄、松井敬之助、山本隆夫、中島義一、乾正、島田実、越渡武雄、貝塚喜七、井川宏、吉水英彦、増井昭明

金メダル10、銀メダル7 銅メダル9を獲得

身障者スポーツ大会で

身体の不自由な人たちのスポーツ大会が、さる五月三十日に水戸市県営堀原運動公園陸上競技場で行なわれました。このスポーツ大会は、身体障害者の社会復帰が目的ではじめられたもので、こととして九回目。県内各地区から参加した選手たちは、身体障害を克服した人たちはばかりで元気に投げたり走ったりして楽しい一日をすごしました。当市からも二十五人の選手が参加し、金メダル10個、銀メダル7個、銅メダル9個を獲得するというすばらしい成績をおさめました。

- なお、メダル獲得者は次のとおりです。
- 堀川長男(金 2)
 - 内田郁子(金 2)
 - 大野富雄(金・銀)
 - 木村好夫(金・銀)
 - 柏崎勇二(金・銅)
 - 井坂 亘(金・銅)
 - 山木 勲(金)
 - 小林 薫(金)
 - 岡野政重(銀 2)
 - 小林一男(銀・銅)
 - 根本幸三(銀)
 - 幕内重太郎(銀)
 - 大野 洋(銅)
 - 高野 光(銅)
 - 池田光雄(銅)



盲学生がおとしよりに マツサージの奉仕

守横町と泉町の老人クラブの皆さんが、さる六月十七日に老人いこいの家で、水戸市の県立盲学校の生徒さんたちからマツサージをしてもらいました。

これは、市内泉町の渡辺宏さんと国分町の柴野健一さんのきも入りで実現したものでマツサージをしてもらった皆さんは「ありがたい、ありがたい」の連発、また盲学生さんたちも「こんなに喜んでもらってやりがいがあった。これからも機会があれば奉仕したい」と話していました。

夏休み中の児童図書

貸出し——市立図書館

市立図書館では、夏休み中ア、剣力崎、花と匂い、七日にできるだけ多くの児童図書七夜

を小学生に読んでいただくという考えから、毎年「緑陰子ども読書会」を開いています。

ことしは、市内の各小学校(石小を除く)に約百五十冊ずつの図書を出貸す予定ですが、本もいろいろと取りそろえてありますので、図書貸出日、登校日などにぜひ利用してください。

○小説
花埋み、江口の異、強き蟻、幻の女、二十四歳の友情、誰かいませんか、五番町夕霧桜、天人五衰、続永点、山頂の椅子、草いきれ、真夜中のマリ

○泉町平和子ども会
あいうえおブック—二十三冊

○柴野善兵衛さん(仲の内)少年少女世界文学全集—全四十九冊

○読書の寄贈
生涯の基礎を築く

季節の話題(7月)

7月のことを和名で「ふつき」といいます。

語源は奥義抄という本に「ふみつき(7月)たなばた(織女)にかすとして書(ふみ)をひらくゆえに文月(ふみつき)という」とあります。

中国では7月7日に書物の虫干しを行事としていたことから、それが、わが国に伝えられたものといわれますが、これは旧暦の話。7夕月(たなばたつき)とか涼月などという季節語に盛られた語感はいかにも秋立つ感じがつよくでていますが、これは今日このごろの季節のことではありません。

社会を明るくする運動

7月1日～31日

社会を明るくする運動は、すべての国民が犯罪の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において犯罪のない明るい社会をきづこうとする全国的な運動です

夏の交通安全運動

7月20日～8月10日

夏は年間を通じて最も交通事故の多い季節です。

なかでも、いぬわり運転による事故が目立っています。

お互いに注意して交通事故をなくしましょう

お知らせ



海の家、山の家へ どうぞ

市では、ことしも市民の皆さんの健康増進のため、国民健康保険保養所として、海の家と山の家を開きました。

この保養所は、国民健康保険に加入している人なら誰でも利用できますので、利用したいときには、保険年金課 保養所名と利用料金は次のとおりです。

- ◆ 海の家
 - ◆ 倉屋旅館(東茨城郡大洗町) (電)大洗二二二一
 - ◆ 和泉屋旅館(日立市河原子町) (電)33〇〇三七
- ◆ 山の家
 - ◆ 山水荘ホテル(筑波町) (電)六一〇七二一
 - ◆ 玉屋旅館(栃木県塩原町) (電)塩原二六三一

山の家利用料金				海の家利用料金			
区分	金額	時間	単位	区分	金額	時間	単位
宿泊料	大人1人につき(1泊2食付)	(A) 2,000円 (B) 1,500円	午後4時から午前10時まで	宿泊料	大人1人につき(1泊2食付)	1,500円	午後4時から午前10時まで
	子供1人につき(1泊2食付)	(A) 1,000円 (B) 750円	10時とす		子供1人につき(1泊2食付)	900円	とす
休憩料	大人1人につき	300円	4時間	休憩料	大人1人	400円	午後9時30分から午後4時30分まで
	子供1人につき	200円	単位		子供1人	300円	とす

供託事務は土浦支局へ移管

水戸地方方法務局石岡出張所を取り扱っていた供託事務は、七月一日から土浦支局で取り扱うことになりましたのでご注意ください。

悩みごとは「困りごと相談所」へ

開設日時 毎月第1、3金曜日(相談日が祝祭日のときは休み)
時間 午前10時～午後3時
場所 市民会館
※相談は無料で内容については秘密厳守になっています。

出生死亡

五月届出

出生 六十四名
死亡 二十五名

- 元居住地
- 酒井 克己 (長女 マユミ)
 - 飯野 国夫 (長男 祐之)
 - 大関 哲英 (三男 裕)
 - 関 孝男 (二男 克己)
 - 若松 久米 利夫 (長男 啓之)
 - 桜井 英夫 (長女 真澄)
 - 大木 好幸 (二女 由美子)
 - 鈴木 明 (長男 雅士)
 - 中村 満夫 (勤)
- △出生
- 若松 菅原 格郎 (長男 克彦)
 - 春原 憲一郎 (二女 久美子)
 - 神代 正男 (二男 実)
 - 三輪 五郎 (善仁)
 - 君和田 要祐 (長男 裕之)
 - 久保田 武夫 (正孝)
 - 川崎 洋一 (順一)
 - 渡辺 輝 (二男 明宏)
 - 国谷 一男 (長男 幸司)
 - 小林 一男 (二女 千代美)
 - 高木 富二雄 (千景)
 - 北野 守 (長女 奈穂美)
 - 横田 進 (長男 秀明)
 - 村井 亮 (二男 千秋)
 - 山田 清 (長男 和彦)
 - 芳賀 清 (長女 加代)
 - 小林 誠一 (長男 理憲)
 - 山王台 小松崎 昭 (二女 牧子)
 - 小松崎 四郎 (二男 康二)
 - 佐藤 五一 (二男 有希子)
 - 塚本 克夫 (長女 有希子)
 - 直井 稔 (長男 秀生)
 - 渡辺 武雄 (雅則)
 - 英本 本多 莊一郎 (剛)
 - 兵衛 平沢 晃 (光成)
 - 岡田 春男 (長女 由香里)
 - 野村 武男 (美奈子)
 - 小川 道 義 (二女 薫)
 - 木名瀬 信義 (長男 昭男)
 - 中島 憲三 (長男 昭二)
 - 塩沢 昭史 (二男 信二)
 - 赤津 勝三 (長男 弘)
 - 外野 小倉 豊 (長男 克彦)
 - 長谷川 武男 (二女 尚子)
 - 山崎 一行 (長女 恵美子)
 - 正勝 二女 真弓
 - うば 鈴木 正勝 (二女 真弓)
- △死亡
- 大和田 軍吾 (八八)
 - 小貫 幸子 (六九)
 - 岡田 定次郎 (六九)
 - 岩崎 直造 (四六)
 - 桜井 直造 (四六)
 - 森田 直造 (四六)
 - 加藤 志正 (五八)
 - 金子 志正 (五八)
 - 市村 志正 (五八)
 - 徳次郎 志正 (七〇)
 - 萬吉 志正 (七〇)
 - 佐子川 志正 (六八)
 - 高野 志正 (六八)
 - 和之 志正 (六八)

今月の納税

固定資産税 2期
都市計画税

納期限は7月31日限りです。

(住民登録)

人口と世帯

(7月1日現在)	前月比
世帯 10,286	19世帯増
人口 男19,760	29人増
女20,925	11人増
計40,685	40人増

- 井岡 博子 (六三)
- 小松崎 テル (七一)
- 石川 要四郎 (七六)
- 三村 庄一郎 (七六)
- 東大橋 九嶋 (七四)
- 東田 中江 (三三)
- 北根 長尾 (八四)
- 中津川 高野 (四〇)
- 高野 赤間 (七〇)
- 宮崎 信田 (七八)
- 谷岡 塚野 (八〇)
- ケ田 山本 栄次郎 (六五)
- 川崎 隆夫 (六五)
- 要 桂樹 (六五)
- 文夫 美一 (六五)
- 国夫 礼子 (六五)
- 重男 孝行 (六五)
- 憲治 正孝 (六五)
- 比気 憲治 (六五)
- 長谷川 祥辰 (六五)
- 高野 昌留 (六五)
- 中津川 高野 (六五)
- 東大橋 久保田 (六五)
- 石崎 俊夫 (六五)
- 太田 隆 (六五)
- 佐々木 利勝 (六五)
- 宮崎 勇二 (六五)
- 皆藤 利家 (六五)
- 田母神 恒弘 (六五)
- 三村 杉山 (六五)
- 石川 小吹 (六五)
- 井岡 齊藤 (六五)
- 保男 (六五)
- 知子 (六五)